



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

**慶應義塾大学 広島通信三田会報**

**みやじま**

**第56号**

**2019年7月**

**慶應義塾大学 広島通信三田会**

## 目 次

- ・平成31年度総会 . . . . . P1
- ・第24回中四国合同通信三田会に出席して 河村保 . . . . . P2～5
- ・入学式、卒業50年塾員招待会に出席して 大門清 . . . . . P6
- ・全国通信三田会春期幹事会が秋田市で開催 . . . . . P7～8
- ・会報お礼 . . . . . P8

新緑の5月1日、新天皇陛下が皇太子から即位され、元号が「平成」から「令和」に改元されました。「令和」は万葉集の梅の宴に因むものからの出典と云われる。古代の穏やかで香り高い文化が漂う世相や平穏な暮らしが想像される。あれから1000年以上も経った今日、科学技術が進み、人類の暮らしは便利になったが、親が子を子が親を、又無差別に他人を殺す、という物騒な凶悪、残酷な事件が発生、穏やかな暮らしから遠ざかったような感じがする。又、大国の覇権思想が頭を持ち上げ核や貿易を巡り、世界情勢は緊張が高まっている。我が国は70数余年、平和が続いており、国民の感覚が麻痺「平和があたり前」と多くの国民が思っている。平和は、始めからあるものでも、与えられたものではなく人類が多くの犠牲と努力して造り上げたものであることは歴史が証明している。又、今後も続くことが保証されているものもない。令和が戦争のない平和な時代になることを祈る。

# 2019年度総会

日時 2019年4月13日(土) 10:00～12:00

場所 広島市民まちづくり市民交流プラザ

会員 24名

出席者 迫田、瀬戸田、森、河村保、小田、檜原、小林(7名)

欠席者(委任状) 新田、大門、小野田、笠原、河村尚、脇、篠原、川本、村上、西迫、本田(11名)

30年度事業、会計報告、31年度事業計画など報告、審議。

## 2019年度活動計画

- (1) 会報(みやじま)発行 7月(56号)、11月(57号)、3月(58号)
- (2) 第24回中国・四国合同通信三田会広島大会  
4月20日(土)～21日(日)
- (3) 各地の各三田会活動への参加  
各地で行われる通信三田会行事等の情報提供と参加呼びかけ
  - ・5月25日(土) 全国通信三田会春期幹事会 秋田市
  - ・7月24日(水) 広島慶應倶楽部総会・懇親会 広島市
  - ・10月19日(土) 全国通信三田会幹事会秋期幹事会 三田キャンパス
  - ・10月20日(日) 連合三田会大会 日吉キャンパス
- (4) 広島慶友会との連携(担当幹事・・・脇 副会長)  
慶友会に当会の行事の情報提供、参加呼びかけや慶友会の講師派遣に参加  
2月～3月頃、交流会
- (5) 県内未加入塾員への入会働きかけ(特に最近の卒業生に)
- (6) 3月 総会 総会后、新卒者がいた場合、祝賀会、歓迎会を行う

# 「第24回中四国合同通信三田会」に出席して

(7年振りに首記大会が4月20日～21日(1泊2日)広島市で開催され、来賓や中四国会員を中心に40名が参加した。河村保君が寄稿した大会の詳細を紹介します)

河村 保 (1977年経卒)

2019年4月20日～21日(一泊二日間)

広島市東区牛田『神田山荘』(眼下に太田川、そこから七つに分流しデルタ中州の町・広島市が形成)

## 4月20日(土) ☆「第24回中四国合同通信三田会」ほか

◆**記念式典** ⇒ 総合司会(全国通信三田会中四国地域通信連絡部副部長小河和子君)

『塾歌(一番)』斉唱。

挨拶 ・(全国通信三田会地域連絡部長)瀬戸田誠君

主管歓迎挨拶 ・(広島通信三田会長)迫田 勲君

来賓祝辞

・(全国通信三田会会長(代理)全国通信三田会副会長) 伏屋重晴君

・(慶応義塾塾員センター部長) 小島与志生様

・(広島慶応倶楽部幹事長(代理)広島慶応倶楽部副幹事長) 大方幸一郎様「平成2年商学部卒」

来賓紹介 ・(全国通信三田会副会長・元慶応義塾評議員) 田沼千鶴子君

◆**講演** ⇒ 『オタフクとお好み焼きについて』

・(オタフクホールディングス(株)専務取締役) 佐々木孝富様「平成4年商学部卒」

『ひろしまのお好み焼き』から、世界のお好み焼きへ。簡素な料理方法だが奥は深い。皆さんの声を聞いてソースの改良も続けてこられた。浪漫の有る楽しい活動が続いている様子。

◆**会議** ⇒ 司会・挨拶(瀬戸田誠君)

塾の近況と三田祭などの状況・準備等での参加など、興味深い話が有った。

「地域通信三田会の在り方について」色々考えられる局面でもある。

ー 各県通信三田会の現状。

ー 岡山・山口・徳島・広島の各通信三田会から、活動内容の報告もされた。

ー 維持活性化。合同通信三田会の促進。メリットがある。(但し河村個人は大変難しいと思う。三田会は楽しむことが目的と言い切れるでしょうか？

ー 中四国通信三田会旗が次期開催高知県の中町宏之会長へ引き継がれた。

◆**懇親会**

司会 広島通信三田会 小林節子君

祝辞 広島慶応倶楽部 中本幸三様

乾杯音頭 (広島通信三田会顧問・昭和33年経済) 新田政丸君

余興 音楽(広島通信三田会・平成28年文) 檜原宏明君

ー (自身が作詞作曲で全国発売の『一度きりの恋』を熱唱。

ー 全員で肩を組んで「若き血」を合唱、瀬戸田君指導。

閉会の挨拶 (広島通信三田会副会長・平成5年文) 森 郁子君

#### 4月21日(日) ☆お好み焼き体験 ほか

☆広島平和公園(記念資料館)見学。

★参加者 (来賓5名)(広島13名)(岡山6名)(山口5名)(徳島4名)(山陰1名)(高知・石川・愛知・京滋・兵庫各1名)(広島慶応倶楽部1名) ⇒40名

中四国合同通信三田会の四半世紀。速いもので、交流・懇親会が早くも24回です。初回は加納時男大先輩のお声がけも有って始まった。全国各県で通信三田会を活発にして、旗を掲げていこう! しかし、通信塾員数の少ない県でまだまだだ。

塾員が多い県でも、会員増と活性化が望まれる。参加された会員からお土産を多数頂いた。遠くから、お金と時間を費やして参加された皆さまへは、それに見合ったものを提供できたでしょうか? 合同通信三田会にどれだけの意味があるのでしょうか? 次回は中四国の南の果て高知県で開催する。

会員が少ないから、止めるのではなく、開催の活動をして、当地の通信三田会の活発化に利用するのだ、と考える。でも簡単ではないでしょう。

昔は、懇親夕食会の後にも、宿泊室の一番広い部屋に集合して、朝方まで語り合っていました。友へは、「その人の素晴らしさを示してあげる」ことでしょう。自分の得意分野や、できることを伝える。それは自慢話とは違う。集いを通して、心の支えになる人に出会えることを期待している。私自身も、期待される人に成りたい。非常に残念ながら私は、体調がいまいちで、宿泊は遠慮した。参加の皆さんも高齢化で、「朝までトーク」は体力的に難しいようだった。

加納時男先輩はおっしゃった。

「人生で最も重みをもつのは、富・名声・権力ではない。『出会い、触れ合い、めぐりあいのもつ、きらきらした人間のぬくもりではなかろうか』」来年は25回目、新たなステージに入る。



出席者全員で記念撮影



司会者 小河和子君（中央）



来賓  
（左から 伏屋、小島、大方、田沼、佐々木の各氏）



迫田会長の歓迎挨拶



伏屋全国通信三田田会長代理の挨拶



広島慶應倶楽部 中本幸三様



兵庫 通信三田会 筒井会長

石川通信三田会 徳光会長



京滋通信三田会 立木君



中町高知通信三田会長代理に次回に塾旗が渡された



懇親会会場 司会をする小林君



自作の『たった一度の恋』を熱唱する榎原君



瀬戸田副会長のリードで「若き血」を合唱

※写真はどれも河村保君撮影

# 「入学式、卒業 50 年塾員招待会」に出席して

大門 清（昭和 44 年法卒）

☆ 慶應義塾を卒業したのが昭和 44 年<1969 年>でしたから月日の経つのは早いもので 50 年が経過しました。家族や周囲の皆さんに支えお陰様で元気に過し大変感謝している毎日です。

☆ さて、平成 31 年<2019 年>4 月 1 日（月）は私の人生で終生忘れえぬ印象深い日となりました。この日はかねてより招待状が届いていた「慶應義塾大学入学式・卒業 50 年塾員招待会」そして平成時代に終わりを告げ次の新元号発表の日でもありました。新元号「令和」を知ったのは、入学式会場横浜市へと走行していた新幹線「のぞみ号」車内の電光ニュースによるものでした。

☆ 二重の喜びにあふれた入学式会場は「パシフィコ横浜展示ホール」で出席者は新入生 6474 名、父兄約 6000 名、我々OB 約 1700 名、合計大凡 14000 名くらいでしょうか。国際見本市を開催する広い展示ホールを整然とブロック毎に埋め尽くした椅子群に圧倒されます。

☆ 会場ヒナ壇には長谷山塾長以下全常務理事、各学部長の教授、「110 年三田会」会長、役員が勢揃いしています。巨大なスクリーンが 4～5 面でしょうか設置され、我々は真近に見える大型画面を眺めながらの入学式でした。式次第が順調に進み最後は塾歌を全員起立して演奏「ワグネル・ソサィエティー、オーケストラ」合唱「ワグネル・ソサィエティー男性合唱団、同女性合唱団」と一緒に力強く歌いました。そしておなじみの応援指導部のリードで「若き血」を肩を組み合わせ、大合唱し、壮大なスケールの入学式が感慨にふける内に終了しました。

☆ ついでに「卒業 50 年塾員招待会」の会場は「横浜ロイヤルパークホテル」です。移動用バスは横浜市営バスが 15 台チャーターされピストン輸送での対応です。宴会場の 2 階は文学部、医学部、通信教育部、3 階は経済学部、法学部、商学部、理工学部出身の招待者が集いました。長谷山塾長が全常務理事、全額部長を伴いパーティ会場の舞台上で挨拶をされました。塾長を始め義塾関係者が永年の「慶應社中」を大切にしておられるのが実感できたい絆で強く深く結ばれた伝統の重みをひしひしと感じました。

☆ 通信教育出身は舞台に向かって最前列のテーブルで 12 名の塾員が出席しました。初対面の方ばかりでしたが、同じ昭和 44 年<1969 年>卒業生で当時の社会経済状況をお互い共有する仲間です。直ぐに打ち解けてスクーリング出席や勉学での苦労話、各人の置かれた環境等色々な話の花が咲きました。そして舞台上の「2019 年慶應義塾大学卒業 50 年塾員招待会」タイトルをバックにして記念撮影をするうちに 1 時間 30 分の祝賀パーティはあっという間にたち、中締めとなりました。

☆ あけて翌日 4 月 2 日（火）思いで深い三田の山を散策し懐かしい建物群、新しい校舎ビル群を眺めて青春の日々を回想しつつ帰途につきました。

☆ それから 1 週間後のことです。記念撮影をして下さった藤井禧和氏から便りが届きました。貴重な記念写真 2 枚と 10 人の塾員住所録が添えられておりました。またしても「慶應社中」に絆を強く感じ早速にお礼の手紙をしたためた次第です。

☆ 私は 7 月で満 80 歳になります。今年は「慶應義塾卒業 50 年」と「令和時代」の幕明けでもあり、私自身にとっても大きな節目の年を迎えております。これからは「ウォーキング 1 日 1 万歩」<5 3 歳から 27 年間継続実行しています>を主役に据えて、勉学の面では自分なりにあれこれと多方面に思いを巡らせながら、研究テーマを開発、発掘していこうと決意を新たにしている昨今です。

# 全国通信三田会春期幹事会が秋田市で開催

5月25日（土）秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」で全国通信三田会春期幹事会が開催された。  
当会から迫田会長、瀬戸田副会長（全国通信三田会地域連絡部長）が出席した。

- 1、山岡会長の挨拶に続き、各部や地方からの報告や会議  
来年の春期幹事会は名古屋市で開催が決定された。
- 2、記念講演
  - ①講師 古木吉孝氏 秋田酒類製造（株）常務取締役生産品本部長  
演題 「酒屋萬流 酒もいろいろ」
  - ②講師 進藤真一氏 秋田通信三田会長  
演題 「インドのマザー・テレサ施設でリハビリテーション」
- 3、懇親会 同ホテルで全国から集まった友と秋田の美味しいお酒に料理に堪能した。



会場のホテルメトロポリタン秋田、JR秋田駅前



懇親会



全員で肩を組み「若き血」を合唱塾員の絆

尚、翌日は希望者により市内観光があった。



余禄 丁度、23～26日、秋田市駅前附近で「食と芸能大祭典2019」が行われており、なまはげが繰り出し賑わった。



街中に出るなまはげ（秋田駅前にて）  
左の幟旗は金足農業高校



JR 秋田駅に展示されている「なまはげ」



秋田犬（千秋公園にて）



JR 秋田駅

## 会報お礼

札幌（時計台の鐘）、東京（東京通信三田会報）、神奈川（日吉の杜）、愛知（友愛）、大阪（丘の友）、岡山（吉備の郷）、山口（のんた通信）各地からの会報をご恵送頂きありがとうございました。

<https://hiro-tu-mitakai.net/>

慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第56号

発行・編集 広島通信三田会 会長 迫田 勲

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小川内1448番地

E-mail [i-sakoda@h9.dion.ne.jp](mailto:i-sakoda@h9.dion.ne.jp)

発行 令和元年（2019年）7月24日